

西武信金 補助金&入札情報を配信 企業向けに自動抽出

西武信用金庫（落合 寛司理事長）は12月1日、取引先への「補助金&入札情報閲覧サービス」を開始した。全国の行政情報などから絞り込み、利用企業に適合した情報をメール配信。営業店の効率的な支援体制を構築し、全国トップクラスの補助金実績のさらなる増加につなげる。

利用先が事前設定したキーワードに適合する情報を抽出②取引先に随時メールを自動配信③関心を持った情報には、さらに資料請求や個別相談が可能——になる。利用料（月額1500円）は2016年3月末までは、同信金が負担する。特長はスピーディーな対応。取引先が資料請求などをした場合、利用者の同意のもとに取引店にも通知。専門家と連携した支援体制に素早く移行できる。同信金では「自治体によっては利用価値の高い支援策もあるが、タイミングよく見つけ出すことが困難。同サービスで効率的な支援につなげたい」と期待している。